

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 6年 6月17日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p style="text-align: center;">提出者</p> <p style="text-align: center;">住 所 東京都墨田区錦糸1-11-10</p> <p style="text-align: center;">氏 名 東亜道路工業株式会社 東京支店 支店長 尾後 陽輔</p> <p style="text-align: center;">（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）</p> <p style="text-align: center;">電話番号 03-6658-8410</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	東亜道路工業株式会社 東京支店
事業場の所在地	東京都墨田区錦糸1-11-10
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 9.2億円（令和5年度分）
③従業員数	50名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・ 廃プラスチック・紙くず→再生処理業者に委託して、サーマル燃料として再資源化。・ 木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化。・ 建設汚泥→脱水処理を行い改良土として再資源化。・ がれき類・ガラス陶磁器等くず・コンクリート・アスコン・金属→再生処理業者に委託して、再生骨材として再資源化。・ 建設系混合廃棄物・廃蛍光ランプ・金属くず・廃油→再生処理業者に委託して、各再生品として再資源化。・ 石綿含有廃棄物→最終処分場にて埋立。

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙組織図

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	排出量	8,113.23 t	4,559.22 t
	(これまでに実施した取組) 当社が設計・施工の場合は、建設副産物等の考慮をし、計画・設計するが、ほとんどの工事は、発注者による設計仕様に基づいている。施工計画の段階において、発注者と協議し排出抑制の提案などを行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	排出量	7,000.00 t	4,000.00 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として再利用できる方法を検討し、発注者に提案していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として再利用できる方法を検討し、発注者に提案していく。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類：現場での積込時にコンクリート片やアスファルトガラに分別排出を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
排出量	4,903.21 t	0.20 t	2,078.88 t	3.90 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
排出量	2,000.00 t	- t	50.00 t	3.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
排 出 量	0.01 t	3.90 t	34.52 t	98.50 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
排 出 量	5.00 t	5.00 t	30.00 t	100.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排 出 量	55.00 t	96.20 t	180.25 t	0.11 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排 出 量	50.00 t	100.00 t	150.00 t	0.50 t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	全処理委託量	8,113.23 t	4,559.22 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3,599.55 t	2,430.40 t
	再生利用業者への処理委託量	8,113.23 t	4,559.22 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理委託を最優先としている。			

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
全処理委託量	4,903.21 t	0.20 t	2,078.88 t	3.90 t
優良認定処理業者への処理委託量	2,747.86 t	- t	1,308.12 t	0.80 t
再生利用業者への処理委託量	4,903.21 t	0.20 t	2,078.88 t	3.90 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	0.01 t	3.90 t	34.52 t	98.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	0.80 t	34.50 t	98.50 t
再生利用業者への処理委託量	0.01 t	3.90 t	34.52 t	98.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	55.00 t	96.20 t	180.25 t	0.11 t
優良認定処理業者への処理委託量	21.00 t	38.25 t	157.75 t	0.04 t
再生利用業者への処理委託量	- t	96.20 t	180.25 t	0.11 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	全処理委託量	7,000.00 t	2,000.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3,000.00 t	1,000.00 t
	再生利用業者への処理委託量	7,000.00 t	2,000.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への処理委託を最優先とし、優良認定処理業者への委託を可能な限り行っていく。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	燃え殻	建設汚泥	廃油
全処理委託量	2,000.00 t	- t	50.00 t	3.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,000.00 t	- t	10.00 t	1.00 t
再生利用業者への処理委託量	2,000.00 t	- t	50.00 t	3.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	5.00 t	5.00 t	30.00 t	100.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	2.00 t	30.00 t	100.00 t
再生利用業者への処理委託量	1.00 t	5.00 t	30.00 t	100.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	50.00 t	100.00 t	150.00 t	0.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	20.00 t	40.00 t	120.00 t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	100.00 t	150.00 t	0.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所属:東京支店	職:支店長
廃棄物担当		組織名:工事部工事課 組織人数:50人	
役割	支店環境管理委員会	※廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長;支店長 ・委員;関連部署部長 ・事務局;工事部工事課	
	廃棄物処理統括責任者	※廃棄物処理方針の策定 ※支店の廃棄物管理規程の策定・改廃 ※廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認	
	廃棄物管理担当課長(又は作業所長)	※廃棄物処理計画の作成 ※廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ※産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ※処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ※委託契約の締結 ※産業廃棄物管理票の交付・管理 ※監督官庁への各種報告 ※社員、関連会社に対する教育、啓発 ※その他関係する事項	

廃棄物管理組織図

